

釧路商工会議所  
会 頭



栗林 定正

SADAMASA KURIBAYASHI

**鶴** 雅グループが、創業60周年を迎えられました。心よりお慶び申し上げます。

昭和30年の株式会社阿寒グランドホテルの創業以来、原生の森と湖、火山が見事な景観を織りなす阿寒国立公園を拠点に、北海道を代表する温泉旅館として発展されてまいりました。

この間、海外との競争や旅行形態の多様化など、観光産業を取り巻く環境は時代とともに変化してまいりましたが、貴グループにおかれましては、大西雅之代表取締役社長を先頭に、先見の明を持って、時には逆境さえもばねとして、新たな挑戦

を続けられており、先進的な旅館経営は、全国の旅館ホテルがお手本とするところでございます。

さらには、阿寒地域はもとより、ひがし北海道の魅力の発掘・向上と発信に、力強いリーダーシップを発揮されるなど、多岐にわたるご尽力に深甚なる敬意を表します。

中でも、阿寒湖温泉を象徴する旅館であり、貴グループの原点ともいえる「あかん遊久の里 鶴雅」は、上質な寛ぎと癒しの空間を求めるニーズに逸早く応えられ、各方面より高い評価を得ておられます。

日本の旅館文化を継承す

るお客様本位の接客と相まつて、アイヌ文化の伝統が香りに漂う中で、阿寒の神々や自然に対する畏敬の念を感じながら過ごすひとときは、心に響く最高のおもてなしであるものと存じます。

また、道内の国立、国定公園に展開されている各旅館は、グループのアイデンティティを守りつつ、地域の自然や文化、暮らしの息づかいを背景に、それぞれが感性豊かなコンセプトを持ち、物語を語りかけるようなしつらえは、訪れた人々を魅了してやみません。

貴グループにおかれましては、これからも北海道観光の牽引者として、観光産業の振

興と地域の発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新たな歴史の創造に向けて、益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

鶴

雅グループ 株式会社阿寒グランドホテル創

業60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

これまでの鶴雅グループ60年の歴史は、決して順調な道のりばかりではなかったものと拝察します。1987年には、大手旅行会社から顧客満足度アンケート評価の低下を指摘され、送客停止の通告を受けるなど、大変厳しい時期もあったことと存じますが、大西社長様を筆頭に従業員の皆様全員が常にお客様のことを考え、サービス向上を目指すたゆまぬ取り組みを進めたことによつて、お客様の信頼を回復し、

「サービス最優秀旅館ホテル」全国1位に選ばれたことは、鶴雅グループが国内外の多くのお客様から支持されている証でもあります。

「遊久の里 鶴雅」で培われたおもてなしの心配りとサービス向上の取り組みを理念として、全道でおもてなしの宿を展開し、支笏湖では「水の譚」、定山溪では「森の譚」、ニセコでは「空の抄」を開業するなど、地域の雇用創出はもちろんのこと、地域経済発展を通じて観光の振興にもご尽力をいただいております。最近では、札幌市内の赤レンガテラスに、北海道の食の魅力を発信する「鶴雅ダイニング」を開店し、訪れる国内

外の観光客からも高い評価を得ておられます。それぞ

れに明解なコンセプトを掲げて北海道の観光振興に寄与していただき、あらためて感謝を申し上げます。

また、大西社長様が日頃より使われておられるアイヌ語の挨拶の言葉「イ・ラン・カラブ・テ」（直訳すると、あなたの心にそっと触れさせてください」という意味）を、北海道を訪れる人たちを迎える際のアイヌ文化への理解促進や共感を高めるシンボルとなる「おもてなし」の合言葉として大切にしながら、ホスピタリティ向上に取り組みされているからこそ、今の鶴雅グループがあるものと思います。

最後に、大西社長様におかれましては、阿寒観光協会まちづくり推進機構の理事長として地域の発展に、また、北海道観光振興機構の副会長として本道観光の発展に、共にご尽力頂いていることに敬意を表するとともに、鶴雅グループが、創業60年を契機に更に発展をされますようご祈念申し上げます。

公益社団法人  
北海道観光振興機構 会長



近藤 龍夫

TATSUO KONDO